

# 入院のご案内

# 基本理念・方針等

---

## 基本理念

私たちは常に研鑽し、医療・保健・福祉活動において地域の皆様から安心と信頼を得る病院を目指します。

## 基本方針

1. 地域の中核病院として行政、外部医療機関、福祉施設等関係機関と緊密な連携を図ります。
2. 急性期医療を担う病院として、救急医療を含め地域のニーズに応える運営を行います。
3. 患者の個性と尊厳を尊重して、真摯な態度で最善の医療を行うことに努めます。
4. 予防医学を実践し、生活の質の向上に力を注ぎます。
5. 質の高い医療提供とともに効率的な運営を行い、健全経営を目指します。
6. 自己の能力開発に努めるとともに協調と連携によるチーム医療を実践します。

## 職業倫理規定

1. 医療サービスの質の向上を図るため、確かな知識の習得と技術の研鑽に努めます。
2. 医療の公共性を重んじ、地域社会へ貢献するとともに、法規則を遵守いたします。
3. 患者の人権を尊重し、良心をもって十分な説明と同意に基づく患者本位の医療を実践します。
4. 患者のプライバシーを尊重し、業務上知り得た情報の守秘義務を遵守します。

## 患者の権利

1. 誰もが最適の医療を公平に受ける権利があります。
2. 病気や診療のことで疑問に対して、どのようなことでも質問する権利があります。また所定の手続きにより、診療録の開示を求めることができます。
3. 十分な説明と情報提供を受けた上で、検査、治療方法などを自らの意志で選択、決定する権利があります。また、他の医師の意見（セカンド・オピニオン）を聞く権利があります。
4. 診療の過程で得られた個人情報ならびにプライバシーが守られる権利があります。また、同時に他の方のプライバシーを守る義務も伴います。

## 患者の責務

1. 良質な医療を実現するため、自分自身の健康に関する情報を出来るだけ正確に提供し、医療従事者と共同して治療に参加してください。
2. 診療については、十分に理解できるまで質問し、納得したうえで受けてください。
3. 病院の規則や社会的ルールを守り、職員や他の人々に迷惑をかけないようにしてください。

## 個人情報保護方針

当院は信頼の医療に向けて、患者さんに良い医療を受けていただけるよう日々努力を課されております。「患者さんの個人情報」につきましても適切に保護し管理することが非常に重要であると考えております。

そのために当院では、以下の個人情報保護方針を定め確実な履行に努めます。

1. 当院が患者さんの個人情報を収集する場合、診療・看護および患者さんの医療にかかわる範囲で行います。その他の目的に個人情報を利用する場合は利用目的を、あらかじめお知らせし、ご了承を得た上で実施いたします。ウェブサイトで個人情報を必要とする場合も同様にいたします。
  2. 当院は、患者さんの個人情報の利用につきましては以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしません。
    - ◎患者さんの了解を得た場合。
    - ◎個人を識別あるいは特定出来ない状態に加工して利用する場合。
    - ◎法令等により提供を要求された場合。当院は、法令の定める場合等を除き、患者さんの許可なく、その情報を第三者に提供いたしません。
  3. 当院は、患者さんの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、患者さんの個人情報漏えい、紛失、破壊、改ざん又は患者さんの個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。
  4. 当院は、患者さんの個人情報について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「個人情報保護規程」「診療情報開示に関する実施要綱」に従って対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、調査し適切に対応いたします。
  5. 当院の個人情報保護方針に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは下記の窓口でお受けいたします。
    - ・担当窓口：医事サービス課
  6. 当院は、個人情報の保護に関する日本の法令、その他の規範を遵守するとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い、個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。
- ※ この方針は、患者さんのみならず、当院の職員および当院と関係あるすべての個人情報についても上記と同様に扱います。

## 看護部の理念

私たちは、常に優しさ、熱意、愛情を持って、全ての人々の生活の質の向上に全力を注ぎます。

### 看護体制について

- ①看護師は 24 時間、2 交代、3 交代で勤務をしています。
- ②入院中の看護は、看護師が行いますので、原則として付き添いをしていただく必要はありません。しかし、病状・状況等により、ご家族様等の付き添いが必要と判断した場合は、患者さんにより良い医療を提供できるように付き添いをしていただく場合があります。



# 入院の手続き

## 入院受付

入院当日は、指定された時間に1階総合受付にある「入院受付」まで、お越しください。



## 入院手続きに必要な書類

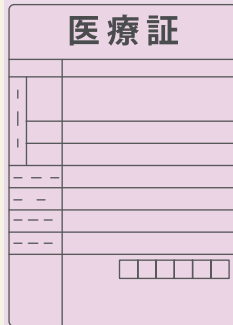
### ✓ 保険証

(健康保険証・国民健康保険証・後期高齢医療保険証)



### ✓ 各種医療証

(医療証・限度額適用認定証など)



### ✓ 診察券



### ✓ 入院申込書兼誓約書

入院申込書兼誓約書

氏名: 富田太郎 | 性別: 男 | 年齢: 54

住所: 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

電話番号: 03-1234-5678

緊急連絡先: 富田太郎 | 03-1234-5678

同意書欄 (本人署名): 富田太郎 | (印)

### ✓ 入院実費に関する同意書

入院実費に関する同意書

項目	単価	数量	項目	単価	数量
アネスト	1800	4000	麻酔料(オペ用)	1800	12000
心電図検査	1800	1000	心電図検査(24時間)	2100	6000
レントゲン	1800	2000	レントゲン	1800	3000
検査費(検査費)	1800	5000	検査費(検査費)	1800	10000
ICU料	1800	5000	ICU料	1800	5000
薬剤	1800	5000	薬剤	1800	5000
看護料	1800	5000	看護料	1800	5000

同意書欄 (本人署名): 富田太郎 | (印)

### ✓ その他検査、手術、治療等に必要となる同意書など

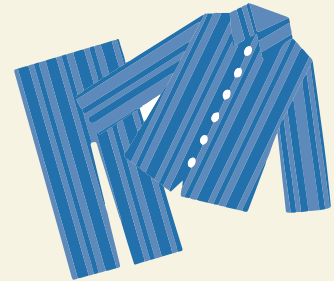


# 入院中に必要な持ち物

## ✓ 服用しているお薬



## ✓ パジャマなどの寝間着 (できれば前あき)



## ✓ 下着、着替え



## ✓ 病室での履物 (滑りにくいもの)



## ✓ タオル



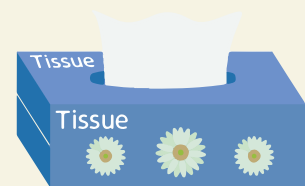
## ✓ 洗面、入浴用品 (コップ・石鹸・歯ブラシ 歯磨き粉・シャンプー等)



## ✓ 食事用品 (湯呑・箸・スプーン等)



## ✓ ティッシュペーパー



## ✓ 日頃使用している 介護用品等 (紙オムツ・尿取りパット・ とろみ剤・入れ歯ケース等)



## ✓ 入院手続きに 必要な書類 ※左ページ



※入院セットサービスも  
導入していますので、  
ご利用ください。  
(詳細チラシ添付)



# 入院中の生活について

## 病室について



### 病室のご希望について

有料の病室と無料の病室があります。ご希望があればお申し出ください。  
料金については「室料について」のページをご参照ください。  
すべてご希望通りにご案内できない場合があります。ご了承ください。

### 部屋移動のお願い

治療や感染予防のため、患者さんの症状の経過をみながら、**一般病棟から個室、個室から一般病室へ移っていただくことがあります。また、一般病室内での移動あるいは、病棟の移動をお願いすることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。**

### お名前の表示について

**お部屋の入口の画面にお名前を表示させていただきますが、ご都合の悪い場合等ございましたら看護師にお申し出ください。対応させていただきます。**

## 起床・消灯

---

**起床** 6時00分頃（病棟や検査などで早くなる場合もあります。）

**消灯** 21時00分～22時00分頃（消灯後は、テレビ・ラジオの使用はご遠慮いただき、静かにお休みください。）

## お食事

---

**朝食** 8時00分頃

**昼食** 12時00分頃

**夕食** 18時00分頃

※検査や手術などの理由で、食事の制限等を行うことがあります。また、当院では、入院時食事療養の基準に基づき食事の提供を行っておりますので、治療上お出しする食事以外のものは召し上がらないようにお願いします。

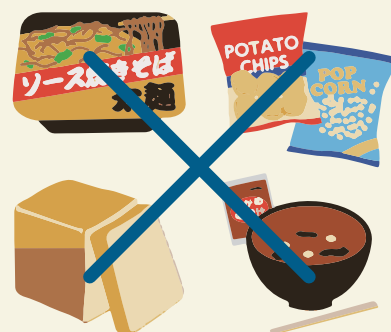
他患者さんとの食品交換等もご遠慮ください。お出しする食事は、病状に応じた治療食を、医師の指示のもとに用意していますので、間食や補食については、主治医又は看護師に必ずお申し出ください。

## 持ち込み食について

---

生もの他、食べ物の持ち込みは、ご遠慮いただきますようお願いいたします。

主治医又は看護師の許可のもと持ち込みされた食べ物は、なるべく早く摂取して頂くか、残ったものはご面会の方がお持ち帰りして頂くようお願いいたします。



## お茶について

---

安全面・衛生面より、お水・お茶類は各自でご準備いただくことになっております。売店、各階設置の自動販売機をご利用くださいますよう、お願いいたします。病状などの理由により、準備が困難な方は病棟スタッフにご相談下さい。

## 入浴

---

入浴可能な方は、決められた時間内にお入りください。入浴時間については、各病棟でご説明します。

## 洗濯

---

各病棟のコインランドリーをご利用ください。洗剤等は各自でご用意をお願いします。

利用可能時間帯 9時00分～20時00分

利用料金 洗濯機1回/¥100 乾燥機30分/¥100

## テレビ・冷蔵庫

---

テレビ・冷蔵庫を使用する場合は、「テレビ・冷蔵庫サービス利用申込書」に必要事項を記入しお申込み下さい。

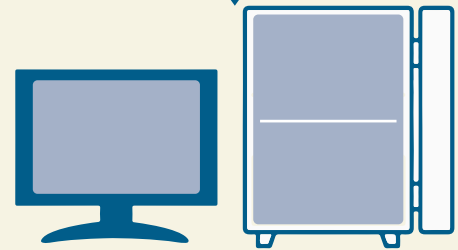
利用料金

<テレビと冷蔵庫を両方利用時> 1日/¥330

<どちらか片方のみ利用時> 1日/¥220

※室料が発生する病室（個室等）の場合は、  
申込不要です。料金は室料に含まれます。

申込み制



## 外出・外泊

---

主治医の許可が必要です。また面会等で長時間病室を不在にされる場合は  
看護師にお声掛けをお願いします。

また感染症の流行期間中は、不要不急の外出・外泊はご遠慮いただきます  
ようお願いします。

## Wi-Fi

---

当院では、無料でWi-Fiをご利用いただけます。

SSID : tondahp-Free

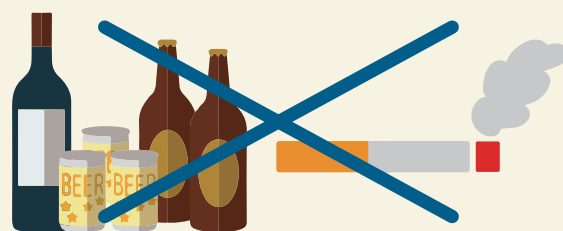
PASS : t0ndabayashiFree




## 飲酒・喫煙

---

入院期間中は、**禁酒・禁煙**です。  
また当院敷地内は**完全禁煙**です。  
患者さん・ご家族等にかかわらず、  
ご遠慮いただきますようお願いいたします。



 アルコール飲料、アルコールに類似するもの、ノンアルコールビール、タバコ、電子タバコ、タバコに類似するものは全面的に禁止です。

◎ルールを守られない場合は、入院治療の継続が難しくなります。  
あらかじめご了承ください。

## アレルギーについて

---

お薬や食品などのアレルギーがある場合は、スタッフまで必ずお伝えください。

## 感染予防について

---

入院されている患者さんの中には、抵抗力が低下し感染症に罹りやすい方も入院されています。ご自身および他の患者さんへの感染予防のため、手洗い・マスク着用・手指消毒等、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 手洗い・手指消毒

---

食事前・トイレのあとの手洗い、病室に入室・退室される時は、病室前に設置している手指消毒剤での消毒をお願いします。

咳・くしゃみがついたティッシュを捨てたあとは、手洗いをお願いします。

※ご面会の方も実施して頂くようお願いいたします。

## マスクの着用

---

感染症流行期間中は、**マスクの着用**をお願いします。

※他者と接する場面や病室外へ出る時は必須です。

## ご面会

### 面会可能時間帯

月曜日～土曜日	15時00分～20時00分
第三土曜日、日曜日、祝日	10時00分～20時00分



### 面会方法

※感染症の流行によって手続き方法が変わることがあります。

- ①必ずご自宅で体温測定を行い、マスク着用でお越しください。
- ②1階に面会手続きのコーナーを設置していますので、そちらにお越し下さい。
- ③面会者カードに必要事項を記入してください。
- ④「面会許可証」をお付けいただき、病棟へお上がりください。
- ⑤面会終了後は、「面会許可証」を返却してお帰りください。

### 面会に関する注意事項

- ・発熱（37.5℃以上）、咳、下痢等の症状のある方は面会をご遠慮ください。
- ・中学生以下の方は感染リスクが高いため、できるだけ面会をご遠慮ください。
- ・感染症の流行期間中は、面会の制限および禁止のお願いをすることがあります。病院内の掲示、病院職員へ面会の内容についてご確認していただき、面会制限および禁止にご理解・ご協力をしていただくようお願いいたします。ただし感染予防の為、予告なく面会制限や面会禁止を行う場合もありますことをご了承ください。
- ・入退院時や手術等の付添い、医師、看護師が来院をお願いした場合は、面会制限中や面会禁止中であっても来院を許可することがあります。
- ・時間外の面会は、必ず病棟スタッフステーションに申し出てください。時間外の面会を許可した方のみご面会していただけます。
- ・患者さんの病状や診断の都合により面会をお断りさせていただく場合があります。
- ・面会時はデイルーム、デイコーナーをご利用していただくようお願いいたします。
- ・ペット等の動物の持込は固くお断りします。（盲導犬・介助犬は可）
- ・病室内での飲食はご遠慮ください。
- ・当院は完全禁煙となっていますので面会者においても喫煙は禁止です。

## 入院中の他医療機関受診

入院中に他医療機関を受診したり、薬の処方を受けることは原則できません。ご家族が代理で受けられる場合も同様です。

やむを得ず他院での受診等を希望される方は必ず医師・看護師にご相談ください。



ご相談なしに他医療機関を受診されたり、お薬の処方を受けた場合、**全額自己負担**となります。ご注意ください。

## 地域包括ケア病棟のご案内

地域包括ケア病棟では主に、急性期の治療後、継続して治療が必要な患者さんに対し、栄養サポートチームや理学療法士・作業療法士によるリハビリテーションを行うことにより、在宅復帰に向けてゆとりある治療や支援を行っていきます。また、社会福祉士を中心に退院後の在宅復帰に向けたサポートも行っていきます。

### どんな場合に地域包括ケア病棟へ入院するの？

地域包括ケア病棟へ転棟していただく場合は、主治医が判断し、患者さんやご家族に提案させていただきます。ご了承後、地域包括ケア病棟（5B病棟）へ移動し、継続入院となります。



### 主治医とインフォームドコンセント

→症状は安定したが、在宅復帰に向けた支援が必要



### 地域包括ケア病棟（5B病棟）へ転棟

退院（在宅療養へ）

## 患者支援センターのご案内

患者支援センターは、外来通院から入院前の準備、入院から退院準備、そして退院後の外来通院や在宅療養などに対し、さまざまな職種でサポートする部署です。必要に応じて、医師、看護師、ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士、事務職員などで相談内容に応じて対応させていただきます。

### 入退院支援

- ・ 検査の予約、説明
- ・ 入院前面談、入院の説明  
（手術室看護師、薬剤師や栄養士による面談）
- ・ 退院調整のご相談



### 地域医療連携室

- ・ 紹介患者さんの検査や診察予約受付
- ・ 転院調整など地域の医療機関との連携等



### 医療福祉相談室

※詳細は次ページへ

- ・ 医療費など経済的ご相談
- ・ 福祉関係のご相談
- ・ 転院支援
- ・ がんに関するご相談等



### 医療安全管理室

- ・ 医療安全に関するご相談

患者支援センターは【11】で表示しています。

患者支援センターは総合受付に向かって左側です。患者支援センター受付に基本伝票をお出してください。担当者が順番にお声かけしますのでセンター内でお待ちください。



## 医療福祉相談室のご案内

---

医療福祉相談室では、社会福祉の専門職員が患者さんの社会的・心理的な相談をお受けし、各種調整や問題解決のお手伝いをしています。例えば、

- ・介護保険ってどんな保険？ どうすれば利用できるの？
- ・施設入所を考えているが、どうしたら入所できる？
- ・病気や怪我で体が不自由になってしまった。何か福祉制度は利用できないの？
- ・治療費が心配なんです… 退院後の生活が心配なんです… などなど。

※相談内容については、秘密を厳守します。

※相談は予約優先制です。看護師等に申し出て頂くか、事前にお電話にてご確認いただいても結構です。

### 相談受付時間

月曜日～金曜日 9:00～16:00

土曜日 9:00～12:00

※第3土曜、日曜、祝日、年末年始（12/29～1/3）はお休みです。

### 場所

1階 患者支援センター【11】内（総合受付の左手にあります）

## 治療におけるインフォームド・コンセント

---

- ▶ 当院では人権を尊重した医療が行われるよう常に心掛けています。そのためには、病気や医療の内容について十分な説明をして、患者さんが納得し同意していただくことが大切と考えています。
- ▶ ご自身の病状について十分な説明を受け理解していただき、同意のうえ治療を受けてください。もし、理解や納得ができない場合には、何度でも説明を求めてください。
- ▶ ご自身の受けている治療の内容について、希望することがありましたらいつでもお申し出ください。
- ▶ ご自身が受けようとしている医療や、今現在受けている医療についてどうしても理解や納得ができない場合には、これを断ることもできます。

## せん妄の予防と対策について

75歳以上の高齢の方や物忘れが目立ってきた方、また入院前より脳梗塞・脳出血等の脳血管障害のある方などが体調不良になって入院したり、手術を受けたり、急な禁酒等で「せん妄」を起こすことがあります。

全身状態の悪化 / 手術の後 / 脳血管障害  
(脳梗塞、脳出血など) / 点滴、安静、絶食、  
痛み、かゆみ、便秘など

このようなことが原因で、  
一定期間意識が混濁する  
ことを「せん妄」という。

せん妄になると、以下のような症状が出現します。

### 場所や時間の感覚が わからなくなる

- ・入院していることがわからない
- ・今日が何月何日なのかわからない
- ・昼と夜が逆転する



### 幻覚が見える

- ・実際にはないものが見える
- ・布団やシーツを引っ張ったり空中の何かをつかもうとする動作がある
- ・「あそこに誰がいる」と言う



### 怒りっぽくなる

- ・暴言や暴力をふるうことがある

### 落ち着きがない

- ・何度もベッドから起きようとする
- ・荷物をまとめたり、出したりする



### 話のつじつまが合わなくなる

### 転倒・転落の事故を起こすことがある

### 点滴やチューブを抜いてしまう

## 患者様とご家族にしていきたいこと

- 検査後・術後などはできるだけ長く、患者さんのそばにいて安心させてあげてください。ご家族の顔を見るだけで、安心して落ち着くことがあります。また本人にとってのなじみの物（写真・普段使用している物、大切にしている物など）があると、安心感につながるがあるので持参してください。
- 普段使用されている眼鏡、補聴器は正しく着用しているか確認して下さい。
- 時計・カレンダーなどを近くに置いて一緒に日時の確認をして下さい。
- 睡眠リズムを整えるため、日中の活動（読書・TV・散歩等）を一緒に行ってください。
- 痛み、かゆみ、便秘など、患者さんが気になっている症状があれば伝えて下さい。
- はさみなどの危険物は、危険なので持ち込まないようにお願いします。

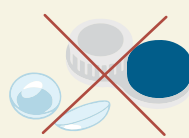
認知症ケアチーム

## 手術を受けられる患者さんへ

手術を受けられるにあたり、緊張や色々な不安を感じることも多いと思います。患者さんが安心して手術に臨め、安全に治療が行われるためのご準備についてご協力をお願いいたします。

### 手術室へ入室するまでにはずしてください！

- ・ 入れ歯 ・ 指輪やネックレスなどの貴金属 ・ コンタクトレンズ
- ・ お化粧品 ・ マニキュア、ペディキュア ・ エクステ（髪の毛、まつげ）
- ・ ジェルネイル、つけ爪（入院前に除去してください）



### 手術室までは希望により持込み可能なもの

- ・ 眼鏡
- ・ カツラ
- ・ 補聴器



※その他のものについては  
ご相談ください。

### 手術室の中に持込み可能なもの

- ・ 手術中にお聞きになりたい音楽（CD、iPod など）
- ・ 持っているとお安心できる小物（お守りや写真など）
- ・ お子様の場合は、手に持てる程度のおもちゃ・ぬいぐるみ（1つ）



#### ▶ 全身麻酔・脊椎麻酔（腰から下の麻酔）を受けられる場合

手術日前日（又は当日）に、麻酔科医及び手術室看護師が病室を訪問させていただきます。ご希望やご相談があればお申し出ください。

#### ▶ 手術中のご家族の方の待機場所

入院患者さんの手術の場合は、病棟でお待ちください。

外来患者さんの手術の場合は、2階イトインコーナーでお待ちください。

# 退院の手続き

## 退院の流れ

- ①主治医の許可により退院が決まります。退院日は病棟師長と相談し決定します。
- ②退院日当日（退院日が日曜、祝日、第3土曜の場合は前日）に入院診療費請求書をお渡しします。
- ③1階 総合受付（会計窓口）又は自動支払機でお支払いください。
- ④スタッフステーションで退院時のお薬・予約票・診察券などをお渡しします。
- ⑤入院中の診断書（当院の用紙）作成は、スタッフステーションにご相談ください。  
生命保険会社等の所定の用紙がある場合は、退院日以降に1階証明書・診断書受付で申込書を記入しお預けください。

## 入院費のお支払い

お支払い日 退院日当日

お支払い場所 1階 総合受付（会計窓口）又は自動支払機

お持ちいただく書類 入院診療費請求書

現金又はクレジットカードでのお支払いが可能です。

会計窓口が閉まっている場合は、1階救急・時間外窓口【13】へお越してください。



※月を繰り越して入院される患者さんは、月末迄の医療費を翌月10日頃にご準備しますので、請求のあった日より1週間以内にお支払い下さいますようお願いいたします。

※預り金とさせていただき、後日清算とさせていただくこともあります。

※領収書の再発行は出来ませんので、大切に保管してください。



# 入院費について

## 入院費用の計算方法

平成18年4月1日から、入院医療費が1日あたりの定額の医療費を基本とした計算方法（診断群分類別包括支払制度：DPC）となりました。この計算方法は、傷病名や診療行為に応じた1日あたりの定額の医療費を基本として（一部の診療はこれまでどおり出来高方式）、入院全体の医療費を計算する方法です。対象は傷病名が包括点数に設定された診断群分類に該当する一般病棟の入院患者さんになります。

（交通事故、労災、公害、正常分娩などの治療を行う患者さんは対象外となります）

従来

### 出来高方式

全ての治療行為の行った回数又は使用した量に応じて計算します。

出来高

入院料、投薬、注射、検査、手術・麻酔、リハビリ、一部の処置及び検査を行った分だけ費用が加算されます。

現在

### DPC(包括払い+出来高払い)

注射の量、検査やレントゲンなどの回数に関わらず1日あたりの定額となります。手術、リハビリ、一部の処置および検査等は出来高方式で計算します。

包括

1日あたりの定額

+

出来高

手術・麻酔、リハビリ  
一部の処置及び検査

※入院の途中に、病状の経過や治療内容によって診断群分類が変更になる場合があります。請求額が変動し前月までの支払額との差額調整を行う場合があります。

## 室料について

種類	トイレ	シャワー	料金(税込)/日	
			市外在住	市内在住
個室①-1	○	○	¥17,600	¥12,100
個室①-2(3B)	○	○	¥14,300	¥ 9,900
個室②	○	×	¥11,000	¥ 7,700
個室③	×	×	¥ 8,800	¥ 5,500
2人部屋(5A)	×	×	¥ 4,400	¥ 2,750
3人部屋(3B,5B)	○	×	¥ 2,750	¥ 2,200
4人部屋	×	×	¥ 1,980	¥ 1,650

※室料は、午前0時を起点に計算します。

よって午後に入室または午前中に退院しても1日の利用料金が必要となります。1泊2日の場合は、室料は2日分徴収させていただきます。

妊娠中及び出産後の入院に係る室料は非課税となります。



## 食費について

1食につき 460 円

非課税世帯に該当する方は下記をご覧ください。

所得区分	標準負担額(この負担額は高額療養費の対象外)
市民税非課税世帯Ⅱ・区分オ	過去1年間の入院数が90日までの場合、1食につき 210 円
市民税非課税世帯Ⅱ・区分オ	過去1年間の入院数が90日以上の場合、1食につき 160 円
市民税非課税世帯Ⅰ	1食につき 100 円

※該当する方は、減額認定証を入院受付にご提示ください。

# 病室のご紹介



## 無料低額診療事業について

無料低額診療事業とは、生計困難者が経済的な理由で、必要な医療を受ける機会を制限されないように、無料または低額な料金で診察を行う事業です。経済的に困りであれば、利用できるか等ご相談ください。

(内容により、収入等が分かるものの提出をお願いする場合があります)

## 高額療養費制度について

高額療養費制度は自己負担限度額を超えた分の医療費が返還される制度です。後から還付請求もできますが、事前申請すれば窓口支払額を自己負担限度額までにとどめることができます。年齢や所得によって限度額等が異なります。次頁の詳細をご確認ください。

※入院時期があらかじめ分かっている方は入院前に手続きができます。

※診療月毎の計算になります。

(例：1/31～2/19 迄の入院の場合は1月分・2月分と別々に計算します。)

※限度額認定証の有効期限は、申請月の1日～月末までです。入院した月内に申請していただくようお願いいたします。

※食費、室料、文書料等は対象となりません。

### 限度額認定証の申請・お問合せ先

- ・協会けんぽの方 …………… 保険証に記載されている健康保険協会の各支部（大阪支部：TEL 06-7711-4300）
- ・健康保険組合、共済組合の方 …… 各健康保険組合または勤務先
- ・国民健康保険の方 …………… お住まいの市区町村の担当窓口
- ・後期高齢者医療制度の方 ………… 各都道府県の後期高齢者医療広域連合、お住まいの市区町村の担当窓口

### 申請の手順

①保険証を発行する保険者に「限度額適用認定証」を申請する。

(保険者とは全国健康保険協会やお住まいの市区町村等のことをいいます。)

②「限度額適用認定証」が交付されたら、当院総合受付窓口へご提示ください。

制度を利用した場合、1ヶ月の窓口支払額の限度額

## 70歳未満の方

所得区分	自己負担限度額 1ヶ月(1日～月末まで)
標準報酬月額 83万円以上	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%
標準報酬月額 53万円～79万円	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%
標準報酬月額 28万円～50万円	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%
標準報酬月額 26万円以下	57,600円
住民税非課税	35,400円

## 70歳以上の方

保険証の提示により自動的に自己負担限度額が適用されますので申請の必要はありませんが、所得区分が「**現役並み所得者Ⅰ・Ⅱ**」の方（年収約370～1,160万円（課税所得145～689万円））は**70歳未満の方と同様の申請が必要です**。また、住民税非課税の方は食事療養費などの減額制度がありますので、市町村の担当窓口までご相談ください。

所得区分	自己負担限度額 1ヶ月(1日～月末まで)	
	通院(個人ごと)	通院+入院(世帯ごと)
現役並み 所得者Ⅲ	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1%	
現役並み 所得者Ⅱ(※1)	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1%	
現役並み 所得者Ⅰ(※1)	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1%	
一般	18,000円(年間上限144,000円)	57,600円
住民税非課税Ⅱ(※2)	8,000円	24,600円
住民税非課税Ⅰ(※2)		15,000円

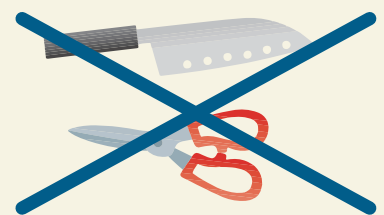
※1「限度額適用認定証」の申請ができます。

※2「限度額適用・標準負担額減額認定証」の申請ができます。

# 病院からのお願い

## ご入院に際して必ずお読みください

- ▶ 月1回の保険証のご提示をお願いします。また、入院中に健康保険証等に変更があった場合は、必ず新しい保険証等を1階入院受付にご提示ください。
- ▶ ご自身が運転してお車での来院はご遠慮ください。お荷物の搬送等やむを得ない事情によりお車で来院される場合は、速やかに家族様、またはご自身の関係者様がお車を引き揚げて頂きますようお願いいたします。なお、診察時において、医師の判断により緊急入院となった場合は、家族様、または関係者様にご連絡のうえ、お車の引き揚げをお願いします。  
(※正当な理由によりお車の引き揚げが困難な場合は、ご相談いただき、説明のうえ一律の駐車料金を徴収させていただきますので、ご理解をお願い致します。)
- ▶ お荷物は必要最小限度にし、出来る限り氏名をお書きください。
- ▶ 多額の現金や貴重品はお持ちにならないようお願いいたします。病院でお預かりすることはできません。また紛失や盗難についても一切の責任は負いかねますので悪しからずご了承ください。
- ▶ 当院では、刃物（果物ナイフやハサミなど）の持ち込みは禁止です。もし必要な場合は看護師にお申し付けください。
- ▶ 寝具は当院でご用意しますので、私物の持ち込みについては看護師にご相談ください。



## 患者さんの誤認防止について

---

入院中の点滴や検査を行うときは、「リストバンドに印字されたバーコード」と「お名前をフルネームで確認すること」で誤認防止に努めております。リストバンド装着にはご不便をおかけしますが、ご協力をお願いします。リストバンド装着による痒み、違和感などが強い場合はスタッフまでお伝え下さい。

## 転倒・転落防止について

---

入院生活を行うにあたり病院内の環境は住み慣れた環境とは全く違う環境であるということをご理解ください。病院での生活は、普段と違った生活環境に加えて、病気やケガにより体力や運動機能が低下しているため、自分は大丈夫と思っけていても、思いがけない転倒・転落が起こることがあり、骨折などを発症することがあります。

当院では治療に専念いただき、一刻も早いご回復を願ってスタッフ一同が転倒、転落に注意をしておりますが、転倒・転落を完全に避けることはできません。

患者さん一人一人の転倒・転落を防止するためには、ご家族のご理解とご協力が必要です。歩行の援助が必要な場合には遠慮なくお申し付けください。

履き物は普段から履きなれたかかとのあるゴム底など滑りにくい履きものをご用意ください。スリッパやサンダルは滑りやすく転倒につながるためお控えください。

## 防災について

---

火の取り扱いには十分注意してください。万が一、火災や災害等の非常事態が発生した場合は、慌てずに、医師・看護師・病院職員の指示に従ってください。火災を発見した場合は大声で近くのスタッフにお知らせください。

また非常口は、入院の際に必ず各自で確認をお願いします。

### 【非常時非難要領】

- ①職員の指示・誘導により避難します。
- ②単独行動やエレベーターの使用はしないでください。
- ③重症者は、職員により担送します。

## 私物管理について

義歯・眼鏡・補聴器などは、入院中も患者さんおよびご家族が自己責任のもと、管理いただくようお願いいたします。万一紛失された場合も当院では責任を負いかねます。義歯・眼鏡・補聴器などは、検査・手術などに伴って着脱する事があり、外した後の保管方法が重要となりますので、入院時にそれぞれの保管ケースを必ずご持参ください。

## 迷惑行為について

医療行為等の妨げとなる以下の迷惑行為を行われた方に対して、当院の判断により入院のお断り、または退院して頂くこととなり、富田林警察署へ通報させて頂く場合があります。

適正な医療業務に対するご理解とご協力をお願いします。



### 迷惑行為

- ・他の患者さん、職員に対する各種ハラスメント行為を認めた場合
- ・他の患者さん、職員に対する大声での暴言暴力行為を認め、若しくはその恐れがある場合
- ・職員に対する不要な拘束を認めた場合
- ・脅迫的言動等により、職員の業務を妨害した場合
- ・解決しがたい要求を繰り返し、職員の業務妨害を認めた場合
- ・他の患者さん、職員に対する付きまとい等の迷惑行為を認めた場合
- ・建物、設備等を故意に破損、汚損した場合
- ・入院生活に必要なない危険物の持ち込み、または、それらを故意に他の患者さん、職員の日につく状態に置く等の威圧的行為と判断した場合
- ・立入禁止場所への無断立入りを認めた場合（病室、詰所他）
- ・許可なく録音、撮影を行った場合



## 富田林病院の概要

### 診療科目

内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・外科・整形外科・小児科・眼科・泌尿器科・皮膚科・耳鼻咽喉科・形成外科・産婦人科・脳神経外科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・病理診断科

### 外来受付時間

月曜日～金曜日 8時00分～12時00分

土曜日 8時00分～11時00分

### 休診

第3土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）

### 開錠時間のご案内

正面出入口：7時30分～17時30分 西側出入口：8時00分～17時30分












# フロアのご案内

## 2階



## 1階



-  エレベーター
-  授乳室
-  イートイン
-    お手洗い
-  階段
-  守衛室
-  コンビニ (平日7:30 ~ 19:00 土日祝7:30 ~ 18:00)

# 5階



# 4階



# 3階





社会福祉法人 OSAKA SAISEIKAI TONDABAYASHI HOSPITAL  
恩賜財団 **大阪府済生会富田林病院**